

キラキラ★たまみず

令和元年8月20日
第62号

発行 [玉水まちづくり協議会]

発行責任者：会長 小立記正
連絡先：☎・Fax (079) 506-3163



8月2日(金)・3(土)に実施された

夏休み広場

城北畠小学校の子どもたちが玉水会館に集まり、8/2の午前中は夏休みの宿題や習字に取り組み、夜は城北畠小学校の運動場で夏の星空を観察しました。

とても集中して習字に取り組む子どもたちと、見守る鳳鳴高校の書道部の生徒の皆さん。



今年度も、城北畠小学校PTAとみたけの里づくり協議会、玉水まちづくり協議会の共催で「夏休み広場」が開かれました。



夏休みの宿題のプリントやドリルなどを勉強しています。分からぬいところは、高校生にやさしく教えてもらいました。

小・中学校を退職された先生方を講師に迎え、鳳鳴高校の生徒の皆さんの応援を得て、学習が進められました。高校生の皆さんには、床にひざをつけてやさしく教えたり、一人の子どもにもていねいに接したりと、心温まる指導があちこちに見られました。



この日は大きな夕立があり星空観察が危ぶまれましたが、午後7時を回ると南の空の雲が晴れて、木星や土星を観察することができました。また、天の川や北の空の星が見えるときもあり、参加した子どもたちは満足して帰途につきました。

大きな望遠鏡で、木星や土星を観察しました。土星の輪がくっきり見えて、感動しました。

8/3(土)

夏休み広場[2日目]

竹工作に挑戦・・・はしと水鉄砲を作る



2日目は、城北畠小学校の体育館横で竹を使った工作に挑戦しました。水鉄砲と箸を作る組に分かれて、それぞれ悪戦苦闘しながら作りました。



まち協役員の作り方を見て、自分でも作ってみようと一生懸命の子どもたちでした。



黙々と箸づくりに取り組みました。できれば、どうでしたか。

まず、水鉄砲を作るグループは、太い竹で筒を、細い竹で押し棒を作ります。この押し棒作りが大変で、細すぎるとスカスカで水がもるし、太すぎると筒に入りません。

ついには、「作って。」と悲鳴が上がり、城北畠小学校PTAやまち協役員に助けを求める子どもたちがたくさんありました。



できた水鉄砲で、早速ペットボトルの的に挑戦しました。

箸を作るグループは、細く割ってもらった竹をさらに削って箸に仕上げました。この削るだけでも四苦八苦。ふだん、小刀など扱ったことのない子どもたちですので、手を切らないかと見ている私たちの方がハラハラしていました。

それでも、何とか箸らしく仕上がると、大事そうに持って帰る子どもの姿がありました。おうちでの夕食に、使ってもらえたでしょうか。

2日間の夏休み広場ではありましたが、城北畠小学校PTAやまちづくり協議会役員さん、鳳鳴高校の書道部やインタークト部の生徒の皆さん、神戸大学の学生さんなど、とても多くの方にお世話になりました。

子どもたちにとって、貴重な体験のできた2日間でした。ありがとうございました。



8/3(土) キラキラ城北納涼まつり

夏休み広場に引き続いて行われました。昼食に、飯ごうで炊いたご飯とカレーをいただきました。竹工作と暑さで疲れましたが、とてもおいしいカレーで元気になりました。

昼食後、畠地区の瀬利の川で生き物観察を行いました。前日に夕立があったにもかかわらず、水深はひざ下ぐらいだったため、子どもたちは嬉々として生き物探しに夢中でした。



つかまえた生き物は、篠山東雲高校の自然科学院の生徒の皆さん的手で分類され、それぞれの生き物について名前や生息場所、食べ物などについて教えていただきました。

そのおかげで、川に棲む生き物についてちょっぴりくわしくなった子どもたちでした。



網を持って、生き物探しに夢中の子どもたちでした。

6/15(土) 受け入れ農家先で、神戸大学農学部生と 7/6(土) 篠山東雲高校生の農業実習始まる

いよいよ、城北地区の各受け入れ農家で、農業実習が始まりました。寺内の玉水まちづくり協議会が借りている「キラキラ農園」でも、3名の大学生が実習に励みました。

6月15日(土)には、黒豆の苗植えとジャガイモの収穫を行いました。農業体験活動に参加した子どもたちや保護者の方々と、一緒に活動しました。

また、7月6日(土)には、少し大きくなった黒豆の土寄せを行いました。慣れない鍬を手に、黒豆の根元に土を寄せる作業に時間はかかりましたが、何とか終えることができました。



「秋には、おいしい黒枝豆ができるといいね。」などとおしゃべりしながら、黒豆の苗を植えました。

大学生にとっては、生まれて初めての体験でしたが、見よう見まねで植え終わることができました。



さよをまじんつ切しゅでとつた。ガイモを残してしまった。何個をどうなさい、イモを残す。皆も

黒豆の苗植えや土寄せ、ジャガイモの収穫などの作業を通して、実際の農業を体験できた大学生は、体で感じてもらえたものと思います。

[なんとなく、大学生より子どもたちの方が上手に見えるのは、気のせいでしょうね。]

6/13(土) ホタルの美しさに、子どもたちも感激

教招田今
えき井年
てし先も、
い、生
たホタルを篠山
だ夕講師と東雲高
きルまにしつ
まつしておの
たい。ておの



6月に入れば、篠山でもあちこちでホタルが飛び姿を目にすることができます。

わがまち協でも、このような自然の素晴らしさを子どもたちに伝えるべく、「ホタル観賞会」を開催してきました。玉水会館でホタルの生態について学んだ後、近くの川で観察しました。

今年は予想以上にたくさんホタルが飛んでいて、子どもたちだけでなく保護者の方々も、その美しさにしばし見とれてしまいました。

【参加した子どもたちの感想を紹介します】

ホタルのせんせいへ

ホタルのひかるところがすごかったです。
じぶんでつかまえたのは、オスでした。

いっぱいおしえてもらって、ありがとうございました。また、みたいです。

[6さい 石橋 ゆうき]

ホタル観しよう会の方へ

ホタル観しよう会へおまねきいただき、ありがとうございました。ホタルの話や紙しばいはとても勉強になったし、む中になって聞いていました。

初めて知ったことばかりで、メモしきれないぐらいでした。また来年もよろしくお願ひします。

[10さい 石橋 秀太]

わたしの家族は、毎年、ホタルのかんじょう会を行っています。最初に、玉水会館で、お話を聞きました。メスとオスの見分け方がおもしろかったです。クイズは毎年いっしょなので、またちがうのを考えもらったらうれしいです。

川へ見に行ったときは、10匹見つけました。その中で、1匹だけがメスでした。ちゃんと見分けられてよかったです。

ゆめりひと
[黒岡 植村結愛、理仁]



お知らせ

城北地区 敬老会について



- ◆ 日 時 9月16日(月) 13:30~15:30
- ◆ 場 所 城北畠小学校 体育館
- ◆ 内 容 式典とアトラクション(当日のお楽しみ)



上記の要領で、75歳以上の高齢者の方々を対象に、敬老会が開催されます。その開催に向けて、「城北地区 敬老会 実行委員会」では6月より話し合われてきました。多くの方々のご参加を心よりお待ちしています。